

ぼく わたし
虫歯ゼロ

9月18日の幼児歯科健診で虫歯がなかったお友達です。



栗村 たくま
(6歳・栗山)



下天 蒼ちゃん
(6歳・四日市)



向川 綺心ちゃん
(6歳・新町)



大川原 舞風ちゃん
(6歳・小苗代)



野表 奏佑くん
(3歳・田子)



村木 奏太くん
(3歳・新町)

費用の一部を助成します

インフルエンザ予防接種

町では次のとおりインフルエンザ予防接種の費用の一部を助成します。年齢により接種の仕方などが異なりますので、詳しくは各世帯に配布のチラシをご覧ください。

【対象者】

- ① 65歳以上の人、60歳以上65歳未満の人で心臓、腎臓、呼吸器または免疫機能障害がある身体障がい者手帳1級をお持ちの人
- ② 0歳から高校3年生までの人、接種時点で1歳未満の子どもの持つ父母

【助成額】

接種料金のうち3,000円を上限に助成します。2回目は2,500円(上限)を助成します。なお、②の対象者はくずまき商品券での助成になります。

※町内の接種料金は1回目5,000円、2回目2,700円です。町外で接種する際の接種料金は、医療機関により金額が異なる場合がありますので、各医療機関にお問い合わせください。また、13歳未満は原則2回接種になります。

【町外で接種する場合】

①の対象者で町外医療機関での予防接種を希望する人は、事前に健康福祉課から「広域接種受診票(※)」を受け取り、医療機関へ提出してください。接種料金の差額分のみの会計になります。

※岩手県内の協力医療機関で接種することができます。

【助成期間】

令和2年2月29日まで

全血献血にご協力ください

【日時】 10月19日(土)
10時～12時
13時30分～15時30分



【場所】 社会体育館 (町民まつり会場)

小児科休診のお知らせ

岡葛巻病院66-2311

町内の保育園健診のため、次のとおりの診療になります。

10月1日(火)、15日(火) 午後休診
10月3日(木) 10時から診療

なお、救急の場合は内科の医師が診療します。

10月は「がん検診受診率50%達成」に向けた集中キャンペーン月間です

がんの予防に重要な5つの生活習慣を見直しましょう！

今や2人に1人は「がん」になる可能性があると言われていた時代です。

がんの要因の多くは、生活習慣が関係しています。次に示す5つの生活習慣に気を付けることで、男性は約半分、女性は約3割のがんになる確率を低くすることができるという研究発表もあります。自分の命を守るため、定期的ながん検診と併せて生活習慣を見直しましょう。

5つの生活習慣を見直しましょう

- ① 禁煙する
- ② お酒は控えめに
- ③ 食生活を見直す
- ④ 体を動かす
- ⑤ 適正体重を維持する



【葛巻町のがん検診受診率(平成30年度)】

年齢区分	子宮	乳	胃	大腸	肺
20歳～24歳	12.9%	—	—	—	—
25歳～29歳	26.7%	—	—	—	—
30歳～34歳	17.6%	—	—	—	—
35歳～39歳	29.0%	—	36.2%	34.2%	38.5%
40歳～44歳	52.6%	51.3%	31.7%	37.4%	34.8%
45歳～49歳	46.7%	56.3%	30.5%	36.3%	38.4%
50歳～54歳	40.8%	48.7%	40.3%	48.2%	50.9%
55歳～59歳	45.8%	46.6%	40.1%	43.2%	45.5%
60歳～64歳	48.7%	49.6%	50.3%	62.1%	66.5%
65歳～69歳	45.9%	51.5%	55.2%	69.2%	—
70歳～74歳	33.6%	37.2%	60.5%	74.5%	—
75歳～	8.9%	10.5%	38.2%	61.9%	—
全体	29.0%	33.1%	44.9%	59.6%	50.3%

平成30年度の「がん検診受診率」を年代別に比較すると、胃や大腸、肺がん検診では35～49歳の人の受診率が約3割程度、婦人科については子宮頸がん検診の20～39歳までの受診率が2割程度と低い結果になりました。

それぞれの検診項目を見ても、若い世代の受診率は低い傾向にあります。がんは早期発見が大切です。若いうちから検診を受ける習慣を身に付けましょう。



【がん死亡が多い部位(年齢による変化)】

がんには年齢によって、なりやすいがんがあります。特に40歳代以降は、がんの発症も増えてくる年齢になります。

自覚症状があまり見られないことも多いので、年1回のがん検診を受けて、早期発見・早期治療に努めることが大切です。

【男性】 40歳以上で消化器系(胃・大腸・肝臓)のがんで死亡する人が多く、70歳以上では、肺がんと前立腺がんが増加します。

【女性】 40歳代では、乳がん、子宮がん、卵巣がんなどで死亡する人が多く、高齢になると消化器系と肺がんが増加します。

保健指導・栄養指導を行っています

町では健診の結果から生活習慣を見直すための「保健指導・栄養指導」を行っています。現在の生活習慣を振り返りながら、食事や運動などによる改善策を一緒に考えます。一人で改善に取り組むことがなかなか難しい時は、保健師や栄養士にご相談ください。

人間ドックの助成を活用してください

町では40歳～70歳未満の人が「人間ドック」を受ける際の費用の一部を助成しています。町で指定する医療機関での受診が要件です。年齢により、補助額が異なりますので、詳しくは健康福祉課(国民健康保険の人は住民会計課)にお問い合わせください。